

## 車いすの大変さ

浅間中学校 三年 柳澤 悠花

私は夏休みに、東京デイズニーシーに母親と二人で行きました。母は「足が痛い」と言って、車いすのレンタルを希望しました。押すのは私になるので、車いすを押した経験はありませんがやってみることにしました。

当日、車いすをレンタルし、押そうとした時、想像よりもはるかに重く、軽く押しただけでは全く進みませんでした。全体重をかけて押したらやっと動き、進み始めましたが、うまくバランスをとって押さないと左右どちらかに曲がってしまいそうで、まっすぐ押すのも大変でした。しばらく歩くと上り坂があり、進むうとしても全然進まず、思いつきり押しながら坂を上りました。とても暑い日だったので日陰に入ろうと少しせまい道に入ったら、早速近くの壁にぶつけそうになりました。危ないので広い道に出ると、日差しが強くてきつかったです。この他にも、坂を下る時は体重を後ろにかけて、気をつけて下らなければ、すごいスピードで下ってしまいそうだったし、人がたくさんいる道は細心の注意を払ってゆっくり進まなければならぬし、写真を撮る時は道のわきに止めてから撮らないといけないし、急に曲がれないし……。不便なことだらけで、はやく移動したい、たくさん写真を撮りたいと思っていて私にはとても不満で、周りをスタスタ歩く人たちを見てとてもうらやましくなりました。

車いすを押すことはとても苦勞があることでした。この体験を通して思ったことが二つあります。

一つ目は、歩く人の動きは危険だということです。歩行者が急に立ち止まったり、急に曲がったりすると、歩いている時でも危ないなと思います。車いすだともっとヒヤヒヤします。車いすはぶつけてしまったらかなり痛いと思うので、ぶつけないように気をつけていても歩行者の機敏な動きにより危なかった……。という場面がたくさんあったりしました。私も急に立ち止まったり、曲がったりしてしまうことがあるので、気をつけたいと思いました。

二つ目は、坂や曲がりくねった道、狭い道の通りにくさです。坂は上りでも下りでもとてもきつくて、きつい分ゆらゆらしてしまったりします。曲がり道は曲がりきれなくなりそうな時があるし、せまい道は周りの壁にぶつけそうになります。このような道は本当に進みづらいなだなと感じました。さけて通るには遠回りをしなくてはならなくて大変でした。

車いすでのデイズニーシーはとても大変でした。人が多く、普通に歩くより体力を使うし、慣れていないこともあって神経も使いました。移動がしづらいとストレスがたまりました。普段車いすを「押す」人には目が行きませんが、皆大変な思いをしているんだなと感じたので、もっと車いすに優しい社会になったらいいなと思いました。